

JTU-HYOGO
兵庫高等学校教職員組合
日本教職員組合(日教組)

兵高教新聞

裏面紹介

◇ 2025年度採用試験対策講座案内
◇ 夏季研究会・学習会の日程 他

神戸市中央区中山手通 4-10-5 神戸市教育会館内 TEL078-261-0829 FAX078-261-1094 E-mail:hyokokyo@pearl.ocn.ne.jp 発行人:西村恭介 編集人:兵高教書記局

給特法等の一部改正法案の審議始まる

4月16日より、衆議院文部科学委員会での公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法等の一部を改正する法律案(給特法等の一部改正法案)の審議が始まりました。以下は、16日の質疑の一部です。(◆質疑、◇文科省回答)

◆学校の長時間労働の現状や教職員不足の状況は公的な教育が崩壊しかねない危機だと捉えている。まずは正確に実態を把握し、長時間労働を是正していくために持ち帰り時間も含めた勤務実態調査を実施すべき。(吉川元議員・大分2区/日政連)

◇持ち帰り時間については、持ち帰りは基本行わないことが原則であり、仮に業務の持ち帰りの実態がある場合には、教育委員会が講ずべき措置の留意事項としてその実態把握に努めるとともに、持ち帰りの縮減に向けた取組を進めることなども指導、周知をしているところ。ご指摘のとおり、外形的に把握がしづらく、実際に業務を行っているかどうかをどのように確認するかという点も含め、慎重な検討が必要。

◆改正案の附則三条には「…教職調整額に係る率の変更を行うことを含め…」とあるが、財政状況によっては教職調整額の段階的引き上げを途中で断念する、あるいは引き下げることもあるということか。(吉川議員)

◇中間段階で確認を行った結果として、それ以降の教職調整額の引き上げを行わないということは想定していない。

◆「新たな職」について、人件費は総額に上乘せられるという理解でよいのか、総額裁量制では自治体判断となると思うが、2級の教諭職などが給与面で不利になることがあり得るのか。(阿部祐美子議員・東京3区)

◇公立学校の教員の給与は、職務給の原則等に基づき各地方公共団体で定められるが、文科省としては、職の新設に伴い、教諭や教頭などの職務や責任についての変更や、他の職の国庫負担金算定単価の引き下げは考えていない。

◆人確法によって一般行政職に対する教員の優遇分が最も大きかったときの割合と現在の割合はどのようになっているか。(波多野翼議員・福井1区)

◇人確法に伴う改善完成時(1980年)は約7%優遇、2001年〜2005年まで5年平均で3%、2018年〜2022年までの平均は0.4%。

◆なぜ、処遇の後退を国として容認してきたのか。(波多野議員)

◇一般行政職は職務の級が増加した一方で、教員に關しての職務の級は変更がなかったことにより昇給幅の大きい昇級の機会が一般行政職よりも少ないことから、相対的に低下したものと承知している。

◆教委による「業務量管理・健康確保措置実施計画(以下「計画」)については、「計画」の策定にあたっては労使協議が必要ではないか。(波多野議員)

◇勤務条件に関するものについては、職員団体からの申し入れがあれば、交渉の対象となり得る。

◆中学校の35人以下学級による働き方改革で教員の負担が軽減されることをどのように思っているか。

◇調査では担任として受け持つ児童生徒数が少ないほど平日の在校等時間が短いことが明らかになっている。2025年度小学校35人以下学級に続き、財源確保も含めて2026年度から中学校の35人学級について定数改善を行うことを大臣合意している。(阿部文科大臣)

◆「計画」の実効性について、現場の実効性を高めるために例えば第三者による監督制度や是正命令、罰則といった強制力のある外部からの担保措置が必要ではないか。業務管理計画の実効性を担保するために想定している仕組みや、外部監査体制、その強制力の在り方、必要性についてどのように考えているか。(高橋永議員(徳島1区)

◇「計画」の実行状況が不十分な場合の罰則は求めている。外部機関によるチェックという観点では教委が立てた「計画」を公表する、総合教育会議に報告することを規定しており、こうした仕組みを通じて実効性を持たせることが期待される。

つしか教員の長時間労働を減らす持ちコマ数を減らしていく対策はない。子どもたちの視点からカリキュラム・オーバーロード、授業時数が多いことについて負担となっている。学習指導要領の内容を減らして授業時数も減らさないと子どもたちの負担が大きすぎるのではないか。(佐々木ナオミ議員・神奈川17区)

◇教科書の分量が増えているのは事実。中教審の時期学習指導要領に関する議論では子どもたちの学習状況とこれからの時代に求められる資質と能力をしっかりと踏まえていきながら、教科書の分量内容の在り方、柔軟な教育課程編成を促進しながら、教員と子どもにも余白を生み出す観点も含めた標準授業時数の弾力化についても丁寧な検討を行っているところ。(阿部文科大臣)

◆今回の法改正に伴って教職調整額を引上げるが、引き下げるものがあるのか。(五十嵐えり議員・東京30区)

◇2025年度予算において義務特手当、多学年学級担任手当を見直す。2026年度以降、給料の調整額について見直すこととしている。義務特手当は本給の1.5%程度となっているものを1/3見直す、多学年学級担任手当は廃止、給料の調整額については1.0から0.5にする。

この他、竹内千春議員(埼玉3区)からは、給特法制定時の考え方と今回の法改正の方向性がずれていること、「在校等時間」という概念が法的には破綻していること、指摘、一年単位の变形労働時間導入の目的とその検証結果、教員不足実態調査について、年度初めよりも年度が進むにつれて不足していることについての調査実施等について質しましたが、阿部文科大臣や文科省の担当者は的外れな答弁に終始しました。

給特法等の改正法案の審議について、日教組は各ブロック代表者による傍聴行動を実施しており、兵高教も23日の委員会審議の傍聴に参加します。

また、全体の質疑・答弁は以下のリンク先からご覧になれます。



https://x.gd/OXjMP

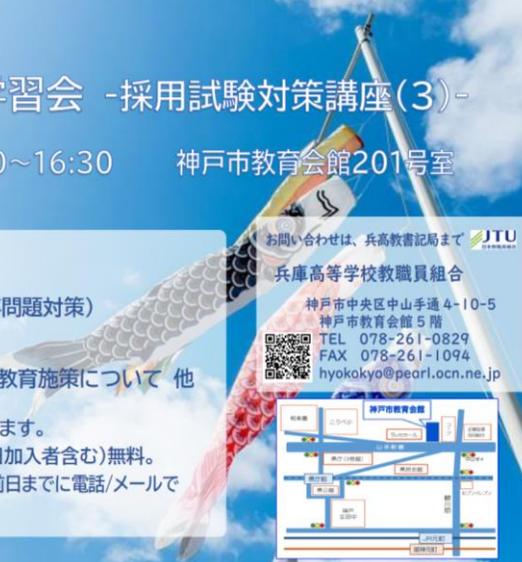
兵庫高等学校教職員組合(兵高教)は、《JTU日教組》加盟の組合で、1989年に設立しました。
※「兵庫高教組」「兵高教組」「高教組」(兵庫県高等学校教職員組合)とは、関係ありません。

2025年度
第3回臨採者学習会 -採用試験対策講座(3)-
5月10日(土)13:30~16:30 神戸市教育会館201号室

【内容】
★一次試験に向けて
(集団面接、教職教養・時事問題対策)
・ひょうごの教育
・今日の教育課題、新しい教育施策について 他

◆どなたでもご参加いただけます。
資料代500円、組合員(当日加入者含む)無料。
参加希望の方は、できるだけ前日までに電話/メールで
ご連絡ください。

お問い合わせは、兵高教書記局まで
兵庫高等学校教職員組合
神戸市中央区中山手通4-10-5
神戸市教育会館5階
TEL 078-261-0829
FAX 078-261-1094
hyokokyo@pearl.ocn.ne.jp




2025年度採用試験対策講座が始まりました

今年も、兵庫県教員採用試験受験予定のみなさんを対象に採用試験対策講座を行っています。

新たな受講者の方がたをお迎えして、第1回は4月5日(土)、第2回は4月19日(土)に実施しました。主な内容は以下の通りです。

- ・出願から一次試験までの流れの確認と、各段階での留意事項
- ・集団面接・個人面接のポイント
- ・「あなたがこれまで学んできたことを生かし、どのような教員になりたいか」(出願時の作文テーマ)について
- ・採用試験過去問の分析
- ・「子どもの権利条約」および「改訂生徒指導提要」等について 等

特に、近年一般教養で出題された国・県の教育施策の理解については、国・県の公表資料を基に詳しく学び、参加者全体で意見交換・協議を行いました。また「2025年度版採用試験対策講座テキスト」も配布しました。

ともに学ぶなかまがいることは貴重です。異なる視点から課題をとらえ、他者の意見を聴きながら考えを深めていくために、積極的に学習会に参加し、教員としての「根っこ」の部分を鍛えていきましょう。

なお、組合員の方については年間を通して参加費無料とし、出願時の作文添削サービスや個人面接・模擬授業練習等の個別対応などを行っています。この機会にぜひ兵高教にご加入ください。

次回は5月10日(土)に開催します(左上参照)。新規参加も大歓迎です。職場での案内・周知をお願いします。

「選択的夫婦別姓制度導入の民法改正を求める請願」署名にご協力をお願いします

連合は、「政策・制度要求と提言」「重点政策」において、選択的夫婦別姓制度の早期導入を掲げてきました。一方、これまで国会では、通称使用の拡大のみがすすめられ、民法改正の議論は全くすすんでいませんでした。しかし、2024年10月、国連女性差別撤廃委員会から選択的夫婦別姓制度導入を求める4度めの勧告が行われ、経団連からも選択的夫婦別姓制度の早期実現を求める提言がありました。

夫婦別姓を望む人の選択の自由と個人のアイデンティティを守るためにも、「選択的夫婦別姓制度導入の民法改正を求める請願」署名へのご協力をお願いします。



※署名用紙は各分会に発送済みです。
5/16(金)までに書記局にご提出ください。

夏季研究集会・学習会の日程

集会名	日程	会場
近畿・北陸・東海ブロック合同障害児教育学習会	7/26(土)午後~27(日)午前	奈良市内
日教組養護教員部研究集会	7/26(土)~27(日)	日本教育会館 (東京・神保町)
実習教員全国集会	7/26(土)~27(日)	
全国学校現業研究集会	7/27(日)~28(月)	
母と女性教職員の会全国集会	8/1(金)	
両性の自立と平等をめざす教育研究会	8/2(土)	
日教組障害児教育研究集会	8/4(月)~5(火)	
近畿ブロックカリキュラム編成講座	8/8(金) 10:00~16:15	
臨時・非常勤教職員等全国交流集会	8/23(土) 午後	日本教育会館(東京・神保町)
TOMO-KEN(青年教育実践交流集会)	10/11(土)~12(日)	

しゅんいち
みずおか俊一
教育、くらし、平和
希望ある未来を子どもたちに!



※会場までの往復交通費・参加費・宿泊費の自己負担はありません(ご希望により、書記局で手配します)。
他府県や異校種のなかまと繋がり、学習を深める貴重な機会です。積極的に参加し、学習を深めましょう。

★詳細は書記局までお気軽にお問い合わせください。

兵高教は、子どもたちの学びと教職員の生活に関わる情報を、迅速かつ正確にお届けします。